

サトイモ新技術共有会

開催要領

1 目 的

令和7年12月公表の「令和6年都道府県別農業産出額統計及び生産農業所得」では、本県のサトイモ産出額は初めて30億円を突破し、野菜の中では第1位となるなど、着実に継続した生産拡大が進んでいる。

今回、気候変動下での安定生産や生産者一人当たりの面積拡大に向けた農林水産研究所や企業・大学が開発した新技術を県内生産者および関係者へ広く紹介し、技術的一助として更なる生産振興につなげることを目的とする。

なお、本会は、(株)インターネットイニシアティブ主催の「柑橘・サトイモ産地での灌水制御による収益向上プロジェクト勉強会(トライアングルエヒメプロジェクト)」との併催である。

2 主 催 愛媛県農林水産研究所

3 開催日時 令和8年2月27日(金) 14:15～16:15

4 開催場所 (株)中温選果場(西条市丹原町寺尾352) ※現地とWebツールのハイブリッド開催

5 参集者 県関係機関・JAグループの各担当者、生産者など

6 日程・内容

○開 会

○デジタルを活用した灌水管理 14:15～14:30
・水分センサとLoRaWANを活用した灌水タイミング通知
・R7トライアングルエヒメプロジェクト

○気候変動下での安定栽培技術 14:30～15:30
・サトイモ生産のポイント
・サトイモ点滴灌漑による多収栽培技術と埼玉県での実証

○面積拡大の取組事例 15:30～15:50
・(株)中温の生産状況と今後の展開

○(株)中温選果場視察 15:50～16:15
・選果機、改良定植機、改良分割機など

○閉 会